

よしみぎかい

春らんまん

雪国からの冷たい風がおさまり
この町のあちこちで
草花がいっせいに笑顔を見せた
ぼくは花吹雪の舞う桜堤を走った
至福の時が流れる

(吉見さくら堤公園で撮影)

撮影・文 長洋弘 長洋弘さん(写真家・作家 南吉見)

にぎやかな吉見の春

12号

2026.6

No.179

8年3月定例会

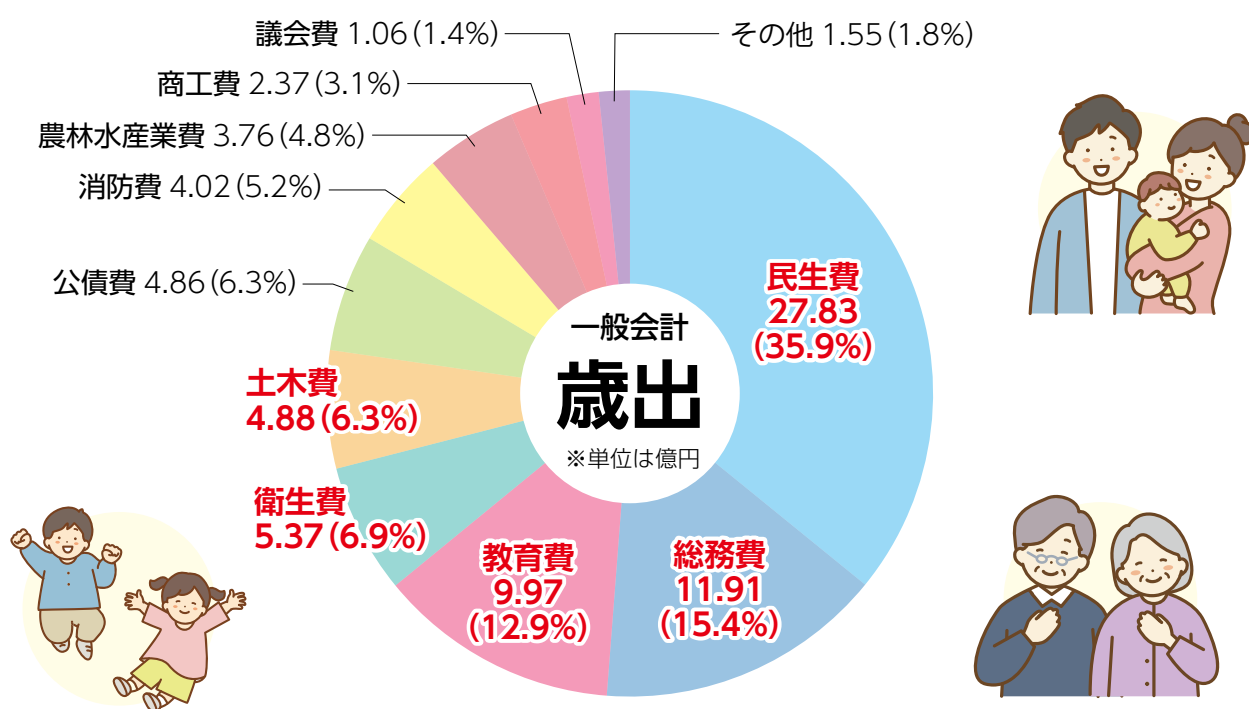
※画像の転載、複製、改変等は
禁止いたします。

- 令和8年度の各予算決定…………… P2～5
- 3月定例議会 ダイジェスト…………… P6～7
- 議員の主張 討論をピックアップ…… P8～9
- 議員の視点 一般質問に11名……… P10～15
- ひと よしみらい町づくり委員会……… P16

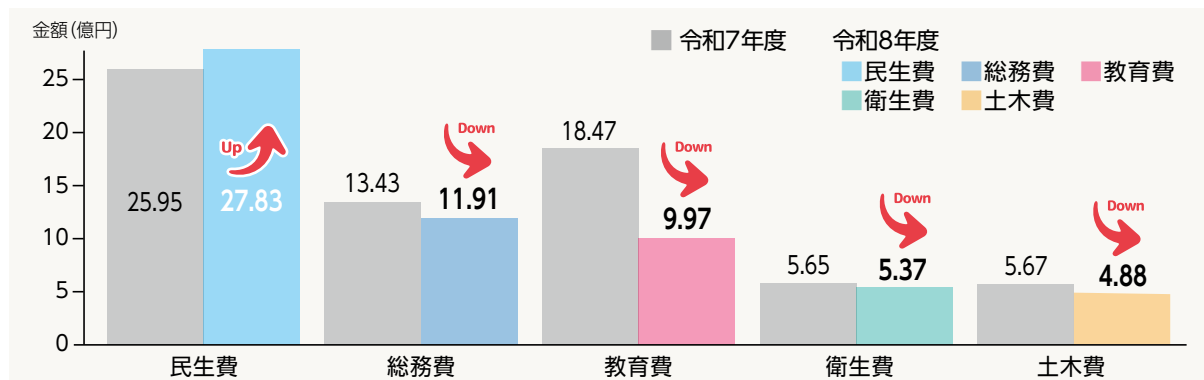
吉見がもっと好きになる一年に 安心のまちづくりへ

3月定例会で令和8年度予算案が議決されました。豊かな自然と農業を守りつつ、デジタル活用と子育て支援を前面に出した予算です。安全に暮らせる環境を整え、持続可能な安心のまちづくりへ。その概要をお伝えします。

令和8年度一般会計予算(総額77億5800万円)



▶ 令和7年度と令和8年度を比較 (上位5項目を掲載)



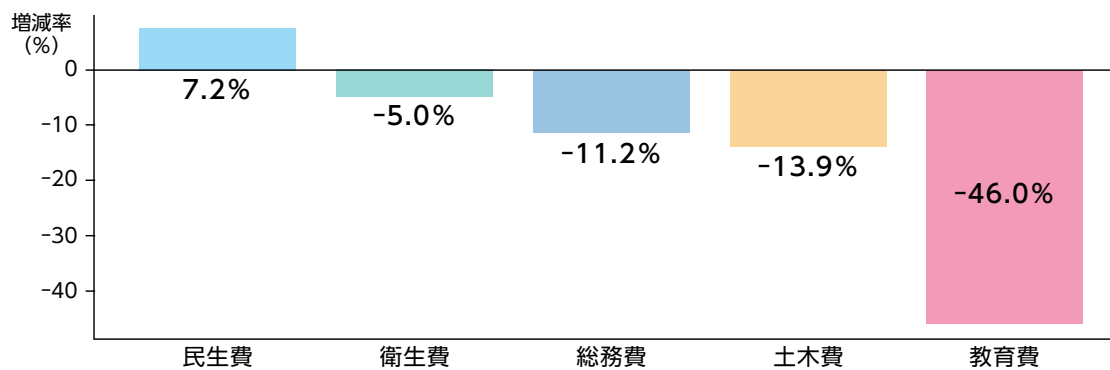
- 民生費**：高齢者や障害者の支援、児童福祉など、住民の生活と福祉向上を目的に支出する経費
- 総務費**：役場運営、地域防災、各種統計調査など、町としての機能向上を目的に支出する経費
- 教育費**：小中学校の運営、生涯学習、スポーツ振興、図書館の維持管理を目的に支出する経費
- 衛生費**：ごみ収集と処理、環境衛生、母子保健、予防接種、健康増進を目的に支出する経費
- 土木費**：道路、河川、公園などの社会資本を整備、維持管理する目的に支出する経費

令和8年度予算

令和7年度と令和8年度の予算額を項目ごとに並べると、民生費が最大項目であり、かつ前年度からさらに増加しています。背景として、高齢化に伴う社会保障費の増加だけでなく、子ども・子育て支援が拡充されています。一方、教育費は前年度より大幅に減少しています。これは小学校統合再編の方針が決定したものの、一部見直しをしていることにより地方債を取りやめた結果です。

令和7年度を基準とした時の、各項目の伸び率と減少率を示したグラフでは、民生費(+7.2%)だけがプラス成長となっており、予算の重点がここに置かれていることが明確です。教育費(-46.0%)の減少幅が突出していますが、土木費(-13.9%)や総務費(-11.2%)も1割を超える減少となっており、全体的に予算を引き締めている傾向が見て取れます。

▶ 予算の増減率 (令和7年度比)



期待の新事業 続々

がん治療等による外見変化を補完するウィッグや胸部補整具の購入費を助成する、アピアランスケア助成事業が始まります。予防接種では、妊婦向けのRSウイルス母子免疫ワクチンが定期接種化されたほか、任意接種としてインフルエンザ(乳児から中学生)とおたふくかぜ(就学前年長児)の費用助成も新たに開始されます。

小学校児童の給食費は、保護者負担をなくします。小中学生のタブレット端末が更新されます。公民館や体育館の利用予約手続きがデジタル化されます。



継続拡大の事業も

産後ケア事業が拡充され、従来の訪問型に加え、医療機関等を利用する宿泊型と日帰り型が新設されます。带状疱疹任意予防接種への助成を継続します。



水道 健康保険 医療保険 介護保険は

これら一般会計予算とは別に上下水道の事業会計、そして国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険の各特別会計があり、紙幅の都合で詳しくは書けませんが、いずれも少子高齢化と人口減少の影響が出ています。

予算を考えることは、町の未来を考えること。収入を確保し、出費を抑える。財源を町民生活の維持と発展に振り向ける。これまで続いてきた努力を今後も続けてまいります。



一部掲載

教育や子育て支援、下水道など、私たちの暮らしに直結する予算について審議しました。



Q.産後も安心して子育てできる支援体制は。

A 産後ケア事業の訪問型を令和5年度から実施しており、令和8年度からはさらに宿泊型と通所型を開始して手厚く取り組みます。



Q.感染症のまん延を防止する取組は。

A 小児インフルエンザ任意予防接種は生後6か月から中学生までを対象に拡充し、また、おたふくかぜ任意予防接種は1歳と小学校就学前の1年間を対象に、それぞれ一部負担を除き接種費用を助成することで、まん延防止と保護者の負担軽減を図ります。



Q.がん患者支援への取組は。

A アピアランスケア支援事業としてウィッグや胸部補整具等を購入された方に助成金を交付し、がん患者の心理的及び経済的な負担を軽減するとともに、生活の質の向上を図ります。



Q.子育て家庭への支援への取組は。

A こども誰でも通園制度は、保護者の就労要件等を問わず、保育所等に通っていない生後6か月から満3歳未満のこどもが、月10時間を上限に保育施設を利用できるものです。町では令和8年4月から、よしみけやき保育所において実施します。専属の職員を配置し、面談等でこどもや家庭の状況把握に努め、関係機関とも連携しながら、子育て家庭への支援を強化します。



Q.健康診断欠席者対応謝金の取組は。

A 健康診断は、学校保健安全法に基づき実施しています。健康診断を不登校や欠席等により受診できなかった児童生徒に対し、学校医による受診の機会を確保します。

3つのポイントで解説

議員名 秋山 真美 委員長

① 小学校の統合再編計画

既存校舎の有効活用の可能性など、さまざまな観点から総合的に検討し、教育環境の充実と施設整備費の縮減との両立を図れるよう、基本計画等の見直しを進めます。保護者や住民の意見の反映を要望しました。



② 施設の安全な維持管理

町民会館では、利用者の安全を最優先し、石板

落下防止ネットの設置工事を約3か月で実施予定です。抜本的な改修については、時期や手法などの課題を整理し検討を進めます。

③ 下水道事業の経営健全化

収入減と修繕費増が見込まれる中、令和7年度から2年かけて使用料改定を検討中です。条例改正案の上程にあたっては、住民の理解を得られるよう改定の必要性の積極的な周知を要望しました。

一部掲載

役場運営や防災、道路整備など、私たちの暮らしに直結する予算について審議しました。



Q.議会の様子、広く周知を。

A 本会議での審議の録画を、本会議の翌日から土日祝を除いて3営業日以内に配信していきます。



Q.防災行政無線の更新は。

A 主要地方道鴻巣川島線万光寺交差点の改良工事に合わせ、防災行政無線の設備を移設します。自治体の負担を抑えられる緊急防災・減災事業債という有利な地方債を活用します。



Q.経済センサス調査の実施は。

A 事業所や企業の経済活動の状態を5年ごとに調べる年にあたり、調査書が国から送付されます。インターネット回答が基本ですが、未回答や実地確認が必要な場合に吉見町統計調査会の会員8名が調査を実施します。



Q.町の魅力発信の取組は。

A 新たに2名の専門人材を招きます。1名は、地域おこし協力隊として、吉見町のファンを増やす関係人口・交流人口づくりを担当。もう1名は、地域活性化企業人として、公共交通の維持推進を担います。



Q.ふるさと納税、今後の取組は。

A サイトの充実だけでなく、今後は体験型や支援型といった、モノを送るだけでなく多様な返礼品を増やす方針です。



Q.農地の利用集積は進んでいるか。

A 町の地域計画では集積率を56%とする目標を掲げており、達成に向けてブラッシュアップしていきます。

3つのポイントで解説

議員名 柳谷 泉 委員長

① 水道基本料金減免事業費補助金

物価高騰の影響を受けた町民や事業者を広く支援するため、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金およびふるさと納税基金を活用し、水道基本料金10か月分の補助を行います。

② 企業立地奨励金

企業誘致を推進し、産業の振興と雇用の拡大を目的に、対象の企業が納付した固定資産税相当額に対して3年間、各年

の割合に応じ奨励金を交付しています。

大和田地区産業団地においても本制度を活用し、企業誘致を進めていきます。

③ 道の駅を拠点に観光振興の推進

道の駅に案内窓口を設置し、官民が連携して事業を推進します。

比企地域の観光資源を活用し、地域外からの誘客を目的に設立された東松山・比企広域観光推進協議会に、比企地域全市町村が加入します。



議員が質問・提案

3月定例議会ダイジェスト

本定例議会では、町長提出の令和8年度一般会計予算をはじめ、議員提出の請願、発議を含め、計23件が審議されました。

今号では、令和7年度一般会計補正予算の質疑と請願および議員提出議案の内容を掲載します。

小学校統合再編 4億2145万3千円減額

問 基本計画の見直し内容が不明の中、予算減額は理解できないが、具体的な内容は。

答 現在整備手法を検討中で、実施設計の着手時期が未定のため予算減額した。

問 議決された予算の事業凍結は、執行部の独断でなく、正式手続きが必要ではないか。

答 今回の補正手続きは、問題ないとする。

問 今までの基本計画はすべて無駄になって、一からやり直すのか。

答 見直しのため、成果物は可能な限り活用。

問 減額は、子どもにとってよりよい教育環境の整備につながると考えてよいのか。

答 子どもたちの教育環境の充実を最優先に考えており、できるだけ早期に整備できるよう努めていく。



企業版ふるさと納税寄付 2400万円増額

問 事業内容と用途は。

答 武蔵ヒートペアーズによる投げ方教室や中学校部活動支援に対し、寄付をいただいた。

問 制度終了を見据え、新規提案を行い、制度活用拡大に向けた考えは。

答 パートナーとなる民間事業者の掘り起こしに努める。



後期高齢者健康診査 170万円増額

問 対象者数と受診率は。

答 対象者3254人、受診率23.66%で、県平均より低い。

問 県の目標は43%でほど遠いが受診率向上に向けた取り組みは。

答 フレイル予防教室や戸別訪問に加え、未受診者分析を進め受診率向上に取り組んでいく。



給食センターボイラー更新 8605万3千円減額

問 ボイラーは更新せずに部品交換のみで従来通り使用しているのか。

答 ボイラーの心臓部である缶体をメインとサブの2台交換修繕し、現在順調に稼働している。

問 今後も直せるものは修繕して使っていくか。

答 今後も適正管理を進め、給食センター運営がしっかりできるよう努めていく。

問 ボイラー更新工事廃止の経過は。

答 稼働25年の設備を更新予定だったが、缶体が故障し、延命措置をしたため、更新は当面見合わせることにした。



請願 第1号：紹介議員 福井議員

ゲノム編集食品の表示義務化を国に求める

ゲノム編集技術を用いた食品は、すでに国内で流通していますが、遺伝子組み換え食品とは異なり、安全性審査や表示義務が課されていません。

請願3つのポイント

①消費者の知る権利・選択の権利

ゲノム編集食品の非表示制度は、消費者の食の選択を著しく制限。

②安全性への懸念と情報不足

比較的新しい技術のため、健康への長期的影響など未だ評価が定まらない部分が多く、国際的な対応も分かれており、適切な情報提供なくして消費者の不安を解消することは困難。

③国への意見書提出の動き

近隣では滑川町、東松山市が国に意見書を提出しており、県内でも複数の議会が提出。消費者保護の観点から、本件が広く共有されている証。

町民の食の安全・安心を守る立場で意見書提出を

発議 第3号：杉田議員提出

国保の負担軽減を国に支援拡充を求める

町民の負担軽減と制度の安定運営のため国に対し、意見書の提出を求めるものです。

意見書3つのポイント

①保険税負担が重くなりやすい構造

加入者の5割以上が前期高齢者、6割が所得の少ない世帯。高齢化に伴い医療費も増大。

②町民負担の増加

国民健康保険税は、2年連続で引き上げ。物価高や賃金の伸び悩みにより負担は厳しい状況。

③国の財政支援拡充は不可欠

制度の維持は、町や加入者の努力だけでは限界があり、国の財政支援強化が必要。

国へ求める内容

- 国庫負担の拡充
- 被用者保険との保険料格差の是正
- 子どもの均等割全額免除

発議 第2号：福井議員提出

令和8年度一般会計予算に附帯決議

令和8年度吉見町一般会計予算執行にあたって、小学校統合再編事業の重要性に鑑み、特段の配慮を求めるものです。

意見書2つのポイント

①小学校統合再編計画の早期策定と加速化

児童に最適な教育環境を早期に提供するため、具体的な実施計画を遅滞なく策定すること。

②財政計画の精査と住民への丁寧な説明

施設整備の縮減幅と将来的な維持管理コストを含めた財政見通しを明確にし、町民に丁寧な説明をし、合意形成に努めること。



インターネット議会中継



定例会・臨時会の本会議を動画配信しています。ライブ配信と録画配信については

吉見町議会 配信

検索

で検索してください。

町議会を傍聴してみませんか

・・・吉見町議会6月定例会・・・

6月9日(火)から開催される予定です。耳の聞こえにくい方にはイヤホンの貸し出しを行っています。お気軽にお越しください。詳しいことは、町議会事務局までお問い合わせください。

議員の主張

討論

ピックアップ

議場での白熱した議論をより身近に。各議員がおこなった賛成や反対討論のうち、本人が選んだ討論をひとつにしぼり、230字以内で掲載しています。どんな考えを持つ議員なのか。何を重視して、何を訴えたのか。議員の主張にある「言葉」にご注目ください。



賛成

議案第3号 吉見町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例 地域一体で子どもを育てよう

本案は、すべての家庭に開かれた子育て支援の大きな一歩であり、賛成する。全国で未就園児世帯の実に6割が育児の孤立に直面していると言われる。本制度により保護者が数時間でも子どもと離れ、心に余裕を持つことは、虐待防止や笑顔の育児に直結すると考える。また、専門家による見守りは、発達の遅れや家庭の異変を察知するセーフティネットとしても機能するだろう。現場の負担軽減に向けた適切な予算措置を町に求めたい。地域一体で子どもを育てる吉見町に近づく一歩と期待している。

福井 学 議員

議案第5号 国保税の値上げに反対する

「吉見町国民健康保険税条例の一部を改正する条例」の国民健康保険税の値上げに反対。異常な物価上昇が続き、生活費が高騰、収入が追いつかない状況が続いている。町はこうした状況の中で、国民健康保険税を大幅に引き上げるとの提案をした。日本共産党は、町民のいのちと暮らしを守る立場から、国民健康保険税の値上げと「子ども・子育て支援金」を上乗せする条例の改正に反対。



反対

日本共産党
福田 妙子 議員



賛成

議案第15号 修正動議は町長の予算提出権を侵す

修正動議の中身を審議する前に、今回の修正動議は、町長の予算提出権を侵すものであり、専権侵害に当たる可能性があるため、修正動議に反対。令和8年度一般会計予算は、財政の健全化を維持しながらも、町民生活を重視した事業に積極的に取り組む姿勢が伺える。第六次吉見町総合振興計画後期基本計画の初年度に相応しい予算と考える。引き続き、社会の変化を展望し、多様化する行政ニーズに応えるべく、行政執行を要望して賛成。

柳谷 泉 議員



公明党
秋山 真美 議員

賛成

請願第1号 ゲノム編集食品の表示義務化は必要

流通などに先立って国への事前相談を行うこととされており、届け出をした上で公表がされるが、届け出には法的強制力がない上、ゲノム編集食品が網羅され、公表されているかは不明とされている。

今回の請願を少数意見にとらえず、消費者基本法に定めがある、情報提供の権利（消費者の知る権利）・選択の権利（選ぶ権利）を担保するために、ゲノム編集食品の表示義務化は、必要な情報提供のあり方であると考えます。



杉田 しのぶ 議員

賛成

発議第2号 統合小学校建設を進める立場で

予算修正動議の否決を受けて、統合小学校建設を前に進めていく立場で、附帯決議に賛成する。

小学校の統合は、実際に学校を利用する子どもたちや保護者、長きにわたって負担していく世代の皆さんへの十分な説明と合意形成のもとで進められるべき。

最適な教育環境の早期整備、町民への説明責任の徹底、将来負担を見据えた適切な事業執行を附帯決議で求めることに賛同する。

賛否が分かれた議案の審議結果

| 議案番号 | 件名 | 結果 | 福井 | 伊藤 | 福田 | 吉田 | 宮尾 | 新井 | 大野 | 柳谷 | 秋山 | 尾崎 | 岩崎 | 杉田 | 小宮 | 宮崎 | | |
|------------|--------|--|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 町長提出議案 | 議案第5号 | 吉見町国民健康保険税条例の一部を改正する条例 保険税水準の統一に向けた埼玉県の取組を踏まえて引上げ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議長 | |
| | 議案第7号 | 請負変更契約の締結について 庁舎外壁改修工事の工事内容および施工期間の変更 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | × | ○ | 議長 | |
| | 議案第8号 | 請負変更契約の締結について 吉見中学校体育館空調設備設置工事の工事内容および施工期間の変更 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | 議長 |
| | 議案第10号 | 令和7年度吉見町一般会計補正予算(第8号) 88億2418万4千円(5億2421万1千円減額) | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議長 |
| | 議案第15号 | 令和8年度吉見町一般会計予算 77億5800万円(前年度比11.6%減額) | × | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | 議長 |
| 請願 | 請願第1号 | ゲノム編集食品の表示義務化を求める意見書を国に提出することを求める請願 | ○ | × | × | ○ | ○ | × | × | × | ○ | × | × | ○ | × | ○ | 議長 | |
| 議員提出議案(追加) | 発議第1号 | 議案第15号 令和8年度吉見町一般会計予算に対する修正動議 | ○ | × | × | ○ | × | × | × | × | × | × | × | ○ | × | ○ | 議長 | |
| | 発議第2号 | 議案第15号 令和8年度吉見町一般会計予算に対する附帯決議 | ○ | × | × | ○ | ○ | × | × | × | ○ | × | × | ○ | × | ○ | 議長 | |
| | 発議第3号 | 国民健康保険制度への国の財政支援拡充を求める意見書(案)の提出について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | 議長 |

議員の視点

一般質問

ダイジェスト

一般質問は議員が行政に対し、地域の課題や政治の進め方について問い、提言を行うもので、町民の声を町政に届けるものです。持ち時間は60分。すべての質問は吉見町議会ホームページの動画配信ページでご覧いただけます。よしみぎかいでは議員ごとに要約版で掲載することとし、本人の原稿をもとに、その内容を編集特別委員会で編集し、掲載しています。

- P10 **国民健康保険税** 福井 学
- P11 **町民体育館** 尾崎 豊
- P11 **物価高騰対応** 大野 陽康
- P12 **国保税の均等割** 福田 妙子
- P12 **稲カメムシ対策** 吉田 克之
- P13 **現在の小学校** 新井 寛雄
- P13 **健康を守る対策** 秋山 真美
- P14 **学校統合再編** 宮尾 美千代
- P14 **ケアラー支援** 伊藤 えりか
- P15 **道の駅新商品** 杉田 しのぶ
- P15 **商業施設の誘致** 柳谷 泉

国民健康保険税



ふくい まなぶ **福井 学** 議員
無所属

が聞く!

税率どう推移

町 税率の上昇抑える取組必要

問 令和9年度の準統一と令和12年度の完全統一どう見通しているか。

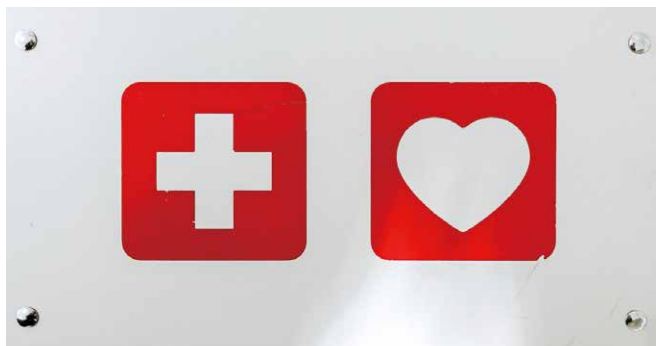
答 町民健康課長 令和9年度の準統一では各市町村の収納率格差以外の項目が統一され、それ以降は各市町村の格差や医療費の増加による影響などにより、令和12年度の完全統一までの税率について検討する必要がある。

問 令和12年度以降、税率はどう推移するか。

答 町民健康課長 同じ世帯構成や同じ所得であれば県内市町村で原則、同じ保険税となる一方、高齢化の進展や被保険者数の減少など、構造的な課題がすべて解消されたわけではなく、医療費の適正化や収納率向上など、今後も税率の上昇を抑える取組が必要と考える。

問 制度の微調整で十分と言えるのか。制度は持続可能か。

答 町民健康課長 県の運営方針に基づく保険料水準の統一化や国による財政支援の拡充とともに、データヘルス計画等を活用した医療費の適正化やマイナ保険証の活用による制度運用の効率化など、持続可能な国民健康保険制度の構築に向けて、加入者の皆様の理解と協力のもと取り組んでまいりたい。



支え合う心が、未来の医療を救う鍵に

その他の質問

- 小学校統合再編
- 公共施設削減



議会中継は左記の二次元コードからご覧いただけます

町民体育館

おぞき ゆたか **が聞く!**
尾崎 豊 議員
無所属



設備更新後の
今後の活用は

町 幅広い層の利用を期待

問 吉見町民体育館の空調・照明設備が更新されたが、今後の施設の活用は。

答 教育長 町民の生涯を通じてスポーツに親しみ健康増進や体力の向上を図っていく上で、スポーツ環境を整えることは、とても大切な取組と認識している。今後は、整備したスポーツ施設を有効に活用していくためにも、さらなる促進に努めていく。

答 生涯学習課長 近年の猛暑が続く状況から懸念される熱中症への対策が図られるとともに、年間を通して安定した条件下でスポーツに取り組める環境が整えられたことから、より幅広い層の方々に利用されるものと考えている。

桜の木の被害の対策は

問 クビアカツヤカミキリの被害と対策は。

答 町長 令和3年に被害が確認され、現在町内全域に被害が広がっている。防除の方法として木の伐採や薬剤の注入・散布、成虫の捕殺などの対策が効果的と考えている。

答 環境課長 研修会の開催や啓発チラシの配布を行い町のホームページにも情報を掲載していく。



町民体育館空調設備



議会中継は左記の
二次元コードから
ご覧いただけます

物価高騰対応

おおの はるやす **が聞く!**
大野 陽康 議員
無所属

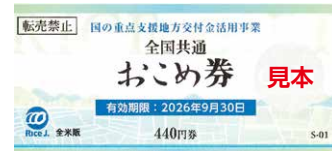


物価高騰対応に係る
町の施策は

町 お米券の配布と水道基本料金減免

問 町民は、お米券の配布をどのように受け入れたのか。

答 総合政策課長 お米以外の商品も購入でき、柔軟な活用ができるとの意見があり、有効な事業であったと認識している。



問 お米券の配布以外に検討していることは。

答 総合政策課長 10か月分の水道基本料金を減免していきたいと考えている。

小学校統合再編

問 改めて小学校を1校に統合再編するという方針が確認されたが、その後の進捗状況は。

答 教育総務課長 基本計画等の見直しに向けて、施設整備費の縮減を主な視点とし、より効果的かつ効率的な施設整備について検討を進めている。

道の駅の今後の展望

問 道の駅の運営に係る今後の展望は、どのようなものか。

答 産業振興課長 単なる休憩・物販施設としてだけでなく、地域の魅力発信・観光拠点・防災拠点・地域経済活性化のハブとして多機能化が進むと考えられる。

学校教育活動

問 小・中学校において年間の標準授業時数は、確実に確保されているか。

答 教育総務課長 定められた標準授業時数に沿って教育課程を編成し、適正な授業運営を行っている。



議会中継は左記の
二次元コードから
ご覧いただけます

国保税の均等割



ふくだ たえこ **福田 妙子** 議員
日本共産党

が聞く!

子ども均等割の減額は

町 知事会を通じて要望していく

問 物価高騰の現在、国保税を下げるために考えられることは。

答 町民健康課長 国民健康保険制度は、相互扶助のもとに成り立っており、国保税を下げるためには、医療費の削減が重要となることから、町としては保険事業の実施や医療費の適正化への啓発を実施し、医療費の削減に努めていく。

問 子どもの均等割を基金の活用で減額する見通しは。

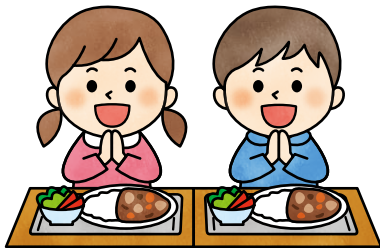
答 町民健康課長 国の基準に基づき、低所得者世帯に対して均等割の7割、5割、2割を軽減しており、令和4年度から未就学児の均等割は、低所得者世帯均等割軽減後に5割を軽減している。全国知事会等を通じて要望していく。

小学校給食無償化決定

問 給食無償化について、町の令和8年度の考えは。

答 教育総務課長 国の基本政策は、給食を実施する公立の小学校を令和8年4月から支援する。基準額は、児童一人に対して月額5200円とする。中学校の給食は、課題の整理を行った上で検討していくとのことで、町も国の基準に合わせる。

小学校児童は、月額5400円に改定し、国が5200円を町が200円を支援し保護者負担はなしとする。



小学校給食無償化はじまる

その他の質問

○ 小学校の修繕



議会で中継は左記の二次元コードからご覧いただけます

稲カメムシ対策



よしだ かつゆき **吉田 克之** 議員
無所属

が聞く!

水稻の高温・病害虫対策は

町 広域的な防除体制の充実に努める

問 令和7年度の埼玉中央農協と連携した広域防除対策は、一定の効果をあげたが、令和8年度の町の対策は。

答 産業振興課長 防除薬剤経費を予算に計上し、関係機関と協力して安定した農業経営の推進に努める。

地域コミュニティの希薄化

問 活性化するための対策は。

答 自治財政課長 地域のお祭り道具や集会所の備品など、コミュニティ活動に必要な備品整備に対して助成を行い、充実・強化を図っている。

問 区長や地域リーダーの人材育成、行政職員の地域参加促進、地域コミュニティ活性化のための協議会立ち上げは。

答 自治財政課長 区長同士の情報交換として、自治会運営や活動の問題点を共有し、解決に向けた取組として、アンケート調査を行い行政区の活動に生かしている。令和6年度には、区長会研修で要望の多かったスマホ講習会を開催し、その後各自治会に案内してスマホ講習会を費用負担なく開催した。また、町のコミュニティづくり推進協議会では、花いっぱい運動、あいさつ運動、ゴミゼロ運動、吉見音頭の普及活動、吉見郷土かるたなどの活動を行っている。引き続き、気軽に参加できる取組を進める。



ドローンの薬剤散布

その他の質問

○ トウガラシ栽培



議会で中継は左記の二次元コードからご覧いただけます

現在の小学校

あらい ひろお **が聞く!**
新井 寛雄 議員
無所属



小学校の教育環境は

町 環境充実に引き続き努めていく

問 将来の教育環境はもちろん大切だが、現在の小学校の教育環境についてはどう考えているか。

答 教育総務課長 現在の小学校においては、トイレの洋式化、空調機設置、GIGAスクール構想によるタブレット端末の配備など、学習環境の整備を進めてきた。教育委員会としては、将来を見据えた教育環境の整備はもとより、現在の教育環境の充実に引き続き努めていく。多くの校舎は施設の老朽化が進んでおり、漏水などの突発的な修繕が増加傾向にあることから、当初予算で想定していない修繕については、補正予算等を活用し、学校生活に支障が生じないように、速やかな対応に努めていく。

諸問題を抱える児童に関して

問 昨今、不登校やいじめについて社会的に問題として捉えられている。当町も例外ではない。現在の行政としての取組は。

答 教育総務課長 児童生徒一人一人の成長を支える視点に立ち、未然防止・早期発見・早期対応を基本として取り組んでいる。学校が児童生徒にとって「安心して過ごせる居場所」となることが重要であり、教職員と児童生徒との信頼関係を基盤とした学校づくりを進めている。



今の児童への教育環境整備を



議会中継は左記の二次元コードからご覧いただけます

健康を守る対策

あきやま まみ **が聞く!**
秋山 真美 議員
公明党



プレコンセプションケアの取組は

町 他自治体を参考に情報発信する

問 昨年7月「プレコンセプションケア推進5か年計画」をこども家庭庁が策定したが、町の取組を伺う。

答 町民健康課長 性別を問わず全ての人が発達段階に応じて、その概念を知り、知識を身につけることが、最も必要な取組と考える。プレコンノートやチェックシートが簡単に入手できるなど、他自治体の取組を参考に、町ホームページやSNSによる情報発信などしていく。

問 オンラインで無料のプレコンサポーター養成講座が行われている。職員等に受講してもらえないか。

答 町民健康課長 生活習慣や健康管理に関する事業の企画や情報を発信する機会など、町の事業等への活用も期待される。受講について職員等への積極的な情報の発信に努める。

問 プレコンセプションケアでは、子宮頸がん検診やHPVワクチンに関する知識を持つことの重要性などが示されている。HPVワクチンの男子への任意接種への助成と県内の状況は。

答 町民健康課長 男子へのHPVワクチン予防接種の定期接種化への国の動向等に注視していく。令和7年度の男子への任意接種の助成は、熊谷市を含め県内9自治体。



性別を問わず将来の健康を考えて健康管理を行う取組

その他の質問

- AI活用
- 子育て支援
- 特定外来生物対策



議会中継は左記の二次元コードからご覧いただけます

学校統合再編



みやお みちよ **宮尾 美千代** 議員
公明党

が聞く!

今後の
ロードマップは

町 新たな基本計画等の策定を経て

問 小学校統合再編、今後のロードマップはどうなっているのか。

答 教育総務課長 現在、設計業務委託を再開し、教育的な視点、財政面などさまざまな観点から検討を進め、施設整備の手法を決定した後、基本計画の見直しを実施する。新たな基本計画等の策定を経て、基本設計、実施設計へと進める。

問 施設整備の縮減とあるがどのくらいの縮減を考えているのか。

答 教育総務課長 施設整備手法の検討を進めている段階、具体的な縮減額は示すことはできない。

問 統合することが決定しているなら、体操服、帽子等を早めに統一してほしいとの声があるが。

答 教育総務課長 改めて体操服の販売時期等について検討する。

問 財政状況が厳しいなら自主財源をふやす方法として、ふるさと納税、クラウドファンディング、ネーミングライツなどの考えは。

答 教育総務課長 国の補助金、地方債の活用を基本とし、自主財源の確保策も重要な視点と考える。

問 住民説明会をすべきだが見解は。

答 教育総務課長 基本計画等の見直し案がまとまり次第、改めて保護者や住民を対象とした説明会を開催する。



できるだけ早く統合小学校の建設を

その他の質問

○若者の出会い



議会中継は左記の二次元コードからご覧いただけます

ケアラー支援



いとう **伊藤 えりか** 議員
無所属

が聞く!

予防的モニタリングを
町の業務に

町 町の保健師の人数には限りがある

問 受給者証を持ちながら未利用の方が31名いるが、障害支援区分4以上の比較的重度の支援が必要な方は、何名含まれているか。

答 長寿福祉課長 障害支援区分4以上の方で、未利用者31名中、4名となっている。

問 町は、生活実態をどの程度把握しているか。未利用の方への伴走型支援について見解を伺う。

答 長寿福祉課長 相談支援専門員は、定期的にモニタリングを実施し、本人の状況に加え、その方を取り巻く環境や家庭の状況などについても聞き取りや確認を行い、町も一定程度把握している。

未利用者への伴走型支援については、思いやりをもって、そっと寄り添うような情報発信や声かけ、継続的なアウトリーチは、ケアラー支援の観点からも非常に重要であると認識している。

問 受給者証を持ちながら未利用の方こそ定期的に家庭訪問し、ケアラーの疲弊度をチェックする予防的モニタリングを町の業務として位置づけるべきでは。

答 長寿福祉課長 重要であると考えているが、町の保健師の人数には限りがあり、すべての対象者に対して定期的な家庭訪問を実施することは困難な状況である。



受給者証の活用で、みんなに心のゆとりを

その他の質問

○少子化対策



議会中継は左記の二次元コードからご覧いただけます

道の駅新商品

すぎた

杉田 しのぶ 議員

無所属

が聞く!



毎パフェや苺サンドの販売は

町 運営会社と情報共有し、今後検討

問 苺のシーズンには開店前から吉見町産の苺を求めてJA直売所に行けず、その様子がInstagramで拡散され、194万回もの閲覧がされている。苺のシーズンに道の駅での消費拡大につなげるために、苺たっぷりパフェや苺サンドなど手軽に作れるものを中心に、ご当地ならではの新メニューを販売してはどうか。

答 産業振興課長 道の駅の新メニューは、運営会社が主体で、あまりんを使用したショートケーキサンデーなども開発されている。提案の内容は運営会社と情報共有し、今後の取組で検討していく。

問 ショートケーキサンデーは、消費者目線では価格設定が高い印象。パフェなら1000円程度であればリピートしやすい。SNS映えする見た目も重視しつつ、町民にも喜ばれるという視点は、町ならではの視点。季節限定の苺に限らず、米どころの町として「釜で炊いたおにぎり屋」的な販売を検討してもいいと思うが、販売価格も含めて町の見解は。

答 産業振興課長 商品開発や価格設定は運営会社が主体だが、提案の内容を共有し、道の駅が観光客のみならず町民にも親しまれる施設となるよう努めていく。



1200円のショートケーキサンデー

その他の質問

○ 小学校統合再編



議会中継は左記の二次元コードからご覧いただけます

商業施設の誘致

やなぎや

いずみ

柳谷 泉 議員

無所属

が聞く!



道の駅東側の商業施設の誘致

町 早期実現は難しい状況

問 道の駅東側への商業施設の誘致に向けて、地権者協議会、地権者協議会が選定した「ユニクス」を手掛けている㈱ピーアンドディコンサルティング、および町の三者で基本協定書を締結したが、整備が遅れている。現在までの進捗状況と現状は。

答 産業振興課長 現在まで、関係法令の調査・検討を進めるとともに、関係部署との協議を行なっているが、整理すべき課題もあることから、現時点では整備の早期実現は難しい状況にある。

問 地元で当選した与党の衆院議員、与党の県議会議員、町長の三者で協力して取り組んでいくことと、県道東松山鴻巣線の4車線化は、町長が精力的に働きかけて進んだ経緯があるので、商業施設の誘致に対して同様に取り組む考えは。

答 町長 町においても極めて重要であり、私自身も働きかけを行なっていく。



商業施設が待たれる

その他の質問

○ 中学校部活動の地域移行
○ シビックプライド



議会中継は左記の二次元コードからご覧いただけます



Jampocketの仲間



「吉見百穴桜まつり」に参加する
大山優香さん(右)



初めて開催 秋の夜祭り

「よしみらい町づくり委員会 Jampocket」は三年前、町制施行50周年を祝う事業の企画運営を担った実行委員を中心に、町の中で楽しいことをしたいと残ったメンバーで設立されました。

町の行事に参加するだけでなく、これまでにいちごまつりや秋の夜祭りなど、企画運営に携わり開催しています。「もっと楽しむ」をテーマに、苺の食べ比べや地元食材使用のキッチンカー出店など、手作りのイベントを開催しています。

目標は、「それぞれの祭りが定着し、多くの皆さんから楽しい町とイメージされるようになりたい」と会長の大山優香おおやま ゆうこさんは話してくれました。現在14名で活動していますが、若いメンバーも増え、新たな視点も採り入れ、楽しいを追求し町内外の方々にも活動を知っていただいて、イベントの提案や協力につなげたいとしています。これからの活動に期待しています。

(宮尾)



吉見中学校 吹奏楽部定期 演奏会



吉見中学校吹奏楽部による定期演奏会が3月28日、町民会館で開催されました。第1部は吹奏楽コンクール受賞曲などオリジナルステージ、第2部は木管、金管、打楽器それぞれのアンサンブル、第3部はポップスステージという演出で観客を魅了。三年生はこの演奏会を最後に引退して卒業、新たに新入生を迎え入れます。

編集後記

今回から全ページカラーになりました。議会の活動をより身近に感じていただければ幸いです。令和8年3月定例会では、令和7年度吉見町一般会計補正予算をはじめ、町の財政運営や施策に関する質疑が多く行われ、活発な議論が交わされました。限られた紙面ではありますが、議会の動きが伝わるよう構成や表現を工夫し、より多くの町民の皆様にご覧いただける議会だよりを目指してまいります。引き続き工夫を重ね、親しみやすい紙面づくりに取り組んでまいります。(伊藤)

※画像の転載、複製、改変等は禁止いたします。

議会だより編集特別委員会

| | |
|---------|--------|
| 委員長 | 福井 学 |
| 副委員長 | 杉田 しのぶ |
| 委員 | 宮尾 美千代 |
| 委員 | 福田 妙子 |
| 委員 | 伊藤 えりか |
| 相談役(議長) | 宮崎 雄一 |